



国際ロータリー第 2620 地区(静岡・山梨)
米山記念奨学生学友会

会報 Vol.7 2016-17 年度



撮影: ラシタ会員(スリランカ、2006-07 年度、甲府南 RC)

2017 年 5 月発行

目次

(敬称略)

1. 感動・感謝の一年・・・・・・・・・・・・・・・・米山学友会会長 篠原曉恵
2. 米山学友会によせて・・・・・・・・・・・・・・・・地区ガバナー 生子哲男
3. 学友会を通してスリランカの子供たちへ文房具を・・・・・・・・米山学友会副会長 C. ペレーラ
4. 光り輝く島スリランカ訪問記・・・・・・・・米山学友会理事 上野佳子
5. ロータリーで出会ったご縁を大切に・・・・・・・・米山奨学生 趙 含嫣
6. 2016-17年度学友会理事役員リスト
7. 2016-17年度学友会正会員リスト
8. 今年度の活動記録(写真)
9. 2016-17年度期間終了した米山奨学生リスト
10. 2017-18年度新規・継続米山奨学生リスト
11. 編集後記

表紙写真：スリランカの子どもたち

1. 感動・感謝の一年



2620 地区米山学友会 2016-17 年度会長

シノハラ シャオフェイ

篠原 曉恵 (台湾、1985-87 年度、船橋西 RC)

米山学友会は、元奨学生（学友）、奨学生とロータリアンとの交流を深め、ロータリーの理念とする国際交流と親善及び平和の創造と維持に貢献することを目的としています。本学友会は「米山梅吉記念館」を活動の拠点として利用させて頂く関係から、全国のロータリアンと学友が来館する際、交流の機会を通して、学友会の役割を果たすことができたと活動しております。

今年度の事業の中で一番大きな企画として「スリランカの貧しい子供たちに文房具を寄贈」プロジェクトがありました。初めての海外への活動で、最初は「募金金額」は？「目標金額」を集められるか？など不安を抱えましたが、卓話や地区大会での募金活動などを通して目標達成をすることができました。

また、ラシタ理事のお父様のご協力で現地の小学校選び、ペレーラ副会長のご家族・友人の協力で、寄贈品の購入や準備作業などにご協力を頂きました。また「スリランカ米山学友会」とも交流親睦会を行ない、意見交換し、共に頑張ることを誓いました。

RC や個人の募金から、129 名の生徒に文房具セットと学校側から希望された教科書、楽器 9 種類 40 個（メロディオン・タンバリンなど）図書館の「908 冊の児童図書（歴史・偉人伝記など）」を贈呈しました。生徒からお礼の言葉と感謝歌を聞き、なんと「危険な動物に遭遇する道」を歩いて、学校に来て勉強する事を知り、日本の子どもがいかに安全で幸せにいることかと感じました。最後に、

先生・生徒・村民の皆様たちと記念写真を撮り、別れを告げ学校を後にしました。

この場を借りて、スリランカ・プロジェクトの提案者であるペレーラ副会長を始め、募金や準備活動に協力して頂いたロータリアン、米山学友、スリランカ在住のご家族・友人の皆様、それから、現地入り贈呈式にご臨席頂きました小沼孝次様（三島 RC）・渡邊富夫様（長泉 RC）に心から感謝いたします。スリランカの生徒達・村人たちからのおもてなしにも感動しました。

今回のこのプロジェクトを通じて、スリランカの農村部の小学校では文房具や楽器、図書などがとても足りないことを知りました。機会があれば、この有意義な事業を続けたいと思っています。

それから、今年度の地区大会では初めてロータリアンの前で、学友会の活動を発表できたことを誇りに感じております。沢山の皆さんに「学友会」について理解して頂き、これからもっと仲良く交流出来ることでしょうか！この機会を与えて頂いた生子ガバナーをはじめ、運営委員の清水中央クラブ、コ・ホストクラブの方々に、心から感謝申し上げます。

この一年間の活動を通して、私は、同じ志を持つ仲間たちに支えられていることに感謝します。改めて学友会の役割を再確認することができました。これからも、学友の皆さん、それぞれの仕事や地域を通して、様々な奉仕活動に参加して、共に米山学友会の発展のために力を合わせて、頑張りましょう！

(写真は贈呈式にて)

2. 米山学友会によせて



RI 第 2620 地区 2016-17 年度ガバナー

ショウジ テツオ

生子 哲男 (清水中央ロータリークラブ)

米山学友会(奨学生と元米山奨学生)は日本国内では33団体、海外では9団体(台湾、韓国、中国、タイ、ネパール、モンゴル、スリランカ、マレーシア、ミャンマー)計42の学友会があります。(※団体の数は2017年4月現在)

学友会の活動は奨学生選考面接の際やオリエンテーション、歓迎会などに学友の参加を促し、手伝ってもらふことにより、奨学生にとってはロータリーファミリーに加わり、奉仕活動を行う先輩の姿に触れる良い機会となります。地区によっては学友に面接の受付などをお願いし、彼らの評価も選考の際の参考にしています。学友会には米山記念奨学会から補助費が支給されていますが、地区からも少し補助されます。学友会活動すべてを補助費に頼らない運営をし、自立した学友会活動をして下さい。

ロータリアンと学友のネットワークを作り、学友会活動をサポートし、そしてまた地区との連絡を密にすることです。学友会の運営及

び活動は、学友および現役奨学生の有志が主体となり、その活動に協力してください。

●活動補助費は、参加学友1名につき3,000円年2回まで(要申請)

●学友会の活動は

- * 学友会総会・役員会
- * 奨学生面接の受付など
- * 奨学生オリエンテーションでの受付、案内、会場設置
- * 震災支援活動(募金活動、寄付、炊き出し)
- * 地域の清掃活動・地域ボランティア活動・老人介護施設ボランティア活動
- * 地区大会や地区行事の通訳やお茶サービス
- * 研修旅行、企業見学
- * 国際交流(それぞれの国の料理でロータリアンをもてなす)
- * スピーチコンテスト



3. 学友会を通して母国の子供たちへ文房具を



2620 地区米山学友会 副会長

チャリット ペレーラ（スリランカ、2006-08 年度、静岡日本平RC）

2620 地区米山記念学友会 2016-17 行事の一環として「スリランカの貧しい子供たちのために文房具を寄付するプロジェクト」を企画し、たくさんのロータリアン、学友会員及び奨学生の方々の協力のもとで成功することができました。その活動報告をさせていただきます。

スリランカはインドの南部に浮かぶ南アジアの小さな島国で、日本との友好関係が深い親日国家とも言えます。スリランカの北部地域では 30 年間渡り、内戦が続き、2009 年によりやく終結しました。この地域の人々は、戦争中、度重なる避難と移住を強いられてきて、終戦後は徐々に元の生活に戻りつつありますが、長年の内戦の影響で発展が遅れ、多くの人々は未だに貧しい生活を続けています。勉強熱心な子供たちがほとんどですが、学校生活に必要な文房具等を購入してあげられる経済力がない親が多いのが現状です。

母国のこのような子供たちに少しでも役に立てるようになりたいと思い、今年度の学友会副会長になったのをきっかけに、スリランカの貧しい子供たちに文房具を寄付するプロジェクトを企画しました。学友会の会員、奨学生、ロータリアンの皆様のご協力で 22 万円の寄付金を集め、現地に必要な文房具を購入し、文房具を必要としている学校に寄付しました。今回の寄付先はワヤバ州の「エリヤーワ・マヒンダ小学校」で、生徒 129 名が在籍している小さな学校です。元校長先生であるラシタ理

事のお父様のご紹介で、今回の寄付先を見つけることができました。事前に必要な文房具について学校に問い合わせしたところ、学校から新年度に必要な文房具リスト入手した際に可能であれば学校に必要な楽器類も寄付して頂けないかとのことだったので、文房具に加えて、メロディオン、サイドドラム等の楽器類も購入し、寄付することができました。

スリランカの知り合いの本屋さんの協力の元で必要な文房具や楽器類等を現地で購入し、2017 年 1 月に私を含め篠原会長、上野理事、ラシタ理事の学友 4 名とロータリアン 2 名（三島 RC 小沼様、長泉 RC 渡邊様）、合わせて 6 名で現地入りし、2017 年 1 月 13 日にエリヤーワ・マヒンダ小学校にて贈呈式を行いました。現地への航空券を含め旅費は全て自己負担にも関わらず、今回の活動に参加して下さったロータリアン及び学友会の皆様にはこの場を借りて心から感謝を申し上げたい。

今回、初の試みでかなりの良い反響があり、現地から地方に小さな病院に必要な医療機器等を寄付して頂けないかの問い合わせもあるので、学友会事業の一環としてスリランカ支援プロジェクトをこれからも継続していく方針でいます。改めて、今回のプロジェクトを成功するためにご協力をして下さった皆様から感謝いたします。

ありがとうございました！

4. 光り輝く島スリランカ訪問記



2620 地区米山学友会 理事

ウエノ ヨシコ

上野 佳子 (中国、2000-02 年度、東京臨海東 RC)

当学友会の「スリランカの貧しい子供たちに文房具を寄贈」プロジェクトの贈呈式のため、1月中旬、スリランカへ行って来た。その贈呈式の様子は別稿で紹介されたので、ここでは割愛し、自然や歴史・文化にふれた毎日を綴ってみた。

直行便にて首都コロomboへ。10時間のフライトの疲れを、空港近くの町ニゴンボのビーチで癒した。

まず訪れたのは仏教聖地キャンディ。仏陀の歯をまつる仏歯寺（世界文化遺産）を見学。1月のスリランカは、朝晩は涼しく少し肌寒いくらいが、昼間は気温が上昇し、日差しも強い。見学の際、靴を脱いで素足にならなければいけない。炎天下で石の道はとても熱かった。また象の保護施設「ピンナワラの象の孤児園」では、タイミングよく象さんの水浴びを楽しむことができた。

キャンディの夜は伝統のダンスショー。屋外で行われたファイヤードダンスや「ファイアーウォーキング（火渡りの儀式）」にはドキドキ、ハラハラ。

スリランカの自然はスケールが大きい。キャンディから南下し、南西のバラピティヤに位置するマドゥ川でボートサファリを体験した折、豊かなマングローブの林、沢山のワセミや鶴の仲間、そして木の上にはイグアナも見かけた。

その後、海岸沿いの道を南へ走ると、海の彼

方で夕陽が徐々に... インド洋の大きなサンセットにとっても感動した。ここヒッカドゥワ辺りは2004年のインド洋大津波で被害が大きかった場所のひとつ。その後、日本の本願寺から寄進された高さ18.5mの仏像が立っていた。

コロomboの南120キロに位置するゴールは南部最大の町。この日はスリランカの祝日「満月祭」。ゴール旧市街（世界文化遺産）を散策していると、ウェディングドレス姿で写真撮影中の新婚さん数組に遭遇。どこかほのぼのした感じで人々の優しさが伝わってくる。未永くお幸せに。

中部にある古代都市の遺跡シーギリヤロック（世界文化遺産）にも圧倒された。目の前に聳える巨大な岩山の頂上まで、暑さにめげず徒歩で登った。

世界文化遺産のダンプッラ石窟寺院を早朝に訪問した時、岩山の上から見る日の出も美しかったこと。生命の輝きのように見えた。

今回の旅で6つの世界文化遺産のうち4つを見学した。素晴らしいプログラムを組んでくれたペレーラ学友とラシタ学友に心より感謝！また、小学校を訪れ、子どもたちの笑顔に接し人々の温かさを感じ、この子たちがいつか日本に留学してくれることを願った。この国をもっと知りたいと、再び訪れることを心に決めて帰国した。皆さんにもぜひお薦めしたい！

(写真はシーギリヤロックにて)

5. ロータリーで出会ったご縁を大切に



2620 地区米山奨学生

チョウ ユ カ
趙 含嫣 (中国、2016-17 年度、甲府南 R C)

日本でのこの二年間、私にとって一生忘れられない二年間でした。

初めて日本にきた頃は右も左もわからなく、学費や生活費を貯めるのに必死で、大好きな英語を勉強する時間もままなりませんでした。寝不足と生活費の底がついてしまうという不安に悩まされる毎日……

そんな中、神様の微笑みが、天から降ってきたように、私の生活を変えてくださったのが、ロータリー米山記念奨学金でした。

毎月いただく 10 万円、そのお金のおかげでかなり余裕ができ、学費のことも、生活費のことも心配する必要がなくなり、英語や他の学問などをしっかり勉強する時間も確保しました。おかげさまで、多くのスピーチコンテストに参加し、多くの聴衆の皆さんに自分の考えなどを伝えることもできました。

思い返せば、周りの人に気を配り、余裕を持って周囲を観察できるようになったのもこのころからでした。

道端に咲いている朝露をまとった白い花、緑で艶がかかった葉、笑いながら道を走り抜ける子供たち、見知らぬ留学生を助ける日本人…緑で溢れかえった日本は、なんて美しく、優しいところなのでしょう。私は、奨学金をいただいたことにより、自分なりの時間を持ち、立ち止まることにより、初めて日本という国を知りました。

光陰流水の如しというように、時が流れるのは早く、まだまだ時間はあると思いきや、いざ振り返ってみるとあっという間です。私はこの一年間、多くの方々に助けていただいたと同時に人を助ける嬉しさを知りました。自分のことだけで手いっぱいだった生活がまるで嘘のようで、微力ながらも、頑張っている人たちのために何かできないかと考え、行動するようにもなりました。

また運よく、就職先も見つかり、私の夢である、言語で国と国、人と人をつなげていく存在に又一步近づくことができました。それもこれも全てロータリアンの皆様のおかげです。皆様の助けがあつてこたからこそ、今の私達がいるのです。

卒業後、私は社会人の一員になります。期待と不安がまじりあう中、新たな一步を踏み出すのです。どのような人と出会い、どのようなことを学んでいくのか私にもまだわかりません。ただ、唯一わかっていることは、私はこれからもどのようなつらい事があつたとしても、ロータリーの皆方を思い出し、夢をあきらめず、進んでいくことでしょう。

そして、私はこれからもロータリーで出会ったご縁を大切に、自分の目に映るこの美しく、優しい日本をもっと沢山のの人に伝えていきたいと思っております。

ありがとうございました。

(※終了式でのスピーチ原稿を加筆修正したものです)

6. 2016-17 年度理事役員

役職	氏名
会長	篠原 暁恵 (シノハラ シャオフェイ)
副会長	チャリット ペレーラ
理事	ラシタ アサンカ エリヤーワ
	崔 暁冬 (サイ ギョウトウ)
	上野 佳子 (ウエノ ヨシコ)
	ダス プロタープ
	ヴォ トウトウイ ティ
会計 (兼)	チャリット ペレーラ
監事	邱 守蓮 キュウ シュレン
	小沼 孝次 (オヌマ タカツグ) 三島RC



7. 2016-17 年度学友会正会員リスト

(学友番号順)

氏名	出身国	世話クラブ
篠原暁恵 (シノハラ シャオフェイ)	台湾	船橋西
吉田恵貞 (ヨシダ ケイテイ)	台湾	東京練馬西
崔 暁冬 (サイ ギョウトウ)	中国	清水中央
兪 新民 (ユイ シンミン)	中国	藤枝南
上野佳子 (ウエノ ヨシコ)	中国	東京臨海東
邱 守蓮 (キュウ シュレン)	台湾	神戸西
陳 興華 (チン コウカ)	中国	パワー浜松
ラシタ アサンカ エリヤーワ	スリランカ	甲府南
チャリット ペレーラ	スリランカ	静岡日本平
サナット ウィマラスーリヤ	スリランカ	長崎出島
栄 翌 (エイ ヨク)	中国	河口湖
金 相均 (キム サンキュン)	韓国	静岡
李 洪 (リ コウ)	中国	横浜東
繆 良華 (ボク リョウカ)	中国	浜松東
村上ティン・ザー	ミャンマー	静岡西
蔡 遣 (サイ ケン)	中国	パワー浜松
林 双 (リン ソウ)	中国	掛川グリーン
ドー, クーン ベト	ベトナム	藤枝南
劉 栗彤 (リュウ リトン)	中国	静岡日本平
侯 華香 (コウ カコウ)	中国	甲府北
鐘 佑希 (ショウ ユウキ)	中国	甲府
ヴ, マンユン	ベトナム	市川大門
ヴォ トウトウイ ティ	ベトナム	静岡北
胡 徳 (フ ドウ)	中国	掛川グリーン

(※会則より、年会費を納付した学友を正会員とする)

8. 今年度の活動記録（写真）



- | | | |
|-----|-----|---|
| (1) | (2) | (1)～(2) 第8期通常総会と熊本地震被災地の支援金募金活動（2016年6月19日） |
| (3) | (4) | (3)～(4) 他地区の米山学友会の皆様と交流活動 in 米山梅吉記念館 |
| (5) | (6) | (5)～(6) 今年度も柿田川湧水公園清掃奉仕活動に参加（9月3日） |



- | | | |
|------|------|--|
| (7) | (8) | (7)～(8) 地区大会 in 静岡グランシップ (2016年11月19日) |
| (9) | (10) | (9) 米山奨学生終了式にて (2017年3月12日) |
| (10) | (11) | (10)～(12) 新規奨学生オリエンテーションにて (4月16日) |
| (12) | (13) | (13) 静岡県東部にて親睦交流BBQを開催 (朝霧高原、5月21日) |
- ※会報の発行には間に間に合いませんが、静岡県西部と山梨県でもそれぞれイベントを予定しております。

「スリランカの貧しい子供たちに文房具を寄贈」プロジェクト



(14)	(15)	(14) 生徒たちは歌って踊って歓迎してくれました。
(16)	(17)	(15) 寄贈する書籍、文房具など
(18)	(19)	(16)～(17) 贈呈式
		(18) 小学校の先生たちと記念撮影
		(19) 世界文化遺産「シーギリヤロック」をバックに

9. 2016-17 年度期間終了した米山奨学生

(50 音順)

氏 名	国籍	現居住地	世話クラブ
アミン, モハマド バドルル	バングラデシュ	バングラデシュ	浜松中
李 允昞 (イ ユンギョン)	韓国	韓国	甲府西
金 泰完 (キム テワン)	韓国	静岡県	藤枝
グエン, ビン レチュウ	ベトナム	神奈川県	甲府北
謝 嬋 (シャ ショウ)	中国	中国	都留
タン, ティ ラム クエン	ベトナム		浜松北
趙 含嫣 (チョウ ユカ)	中国	兵庫県	甲府南
ヒュン, ソーヴァン	ベトナム		静岡西
ファン, トウック バン	ベトナム		甲府東
プトリ クスマ スギアント	インドネシア	千葉県	伊豆中央
ブ, アン トウイ	ベトナム	ベトナム	浜松東
呂 媛媛 (リョ エンエン)	中国	東京都	浜名湖
呂 姣燕 (ロ コウエン)	中国	静岡県	清水
駱 予倩 (ロ ヨチェ)	中国	東京都	山梨中央



10. 2017-18年度の米山奨学生

(50音順)

氏名	国籍	世話クラブ
ウルミ, ジナット フェルドウス	バングラデシュ	浜松東
燕 少陽 (エン ショウヨ)	中国	甲斐
欧陽 東彦 (オウヨウ トウゲン)	中国	浜松南
王 仁僑 (オウ ジンキョウ)	中国	甲府南
郭 銘騏 (カク メイキ)	台湾	掛川グリーン
夏 力 (カ リキ)	中国	大月
姜 春喜 (キョウ ジュンキ)	中国	静岡中央
グエン チィー クエン リエン	ベトナム	浜松北
グエン ティ グイン チャン	ベトナム	甲府北
ゴ ティ タン トウエン	ベトナム	静岡西
ステチェンスカ, カロリーナ クリスティーナ	ポーランド	甲府東
車 麗虹 (シャ レイコウ)	中国	静岡日本平
徐 冬閩 (ジョ トウビン)	中国	浜松西
薛 安琪 (セツ アンキ)	中国	パワー浜松
張 康 (チョウ コウ)	中国	笛吹
ド ゴック ハン	ベトナム	静岡北
ドン, チ ピュ	ミャンマー	富士宮西
ハムザー	インドネシア	清水
マイ ティ フォン ズン	ベトナム	甲府
レイ レイ ウィン ティン	ミャンマー	清水中央



11. 編集後記

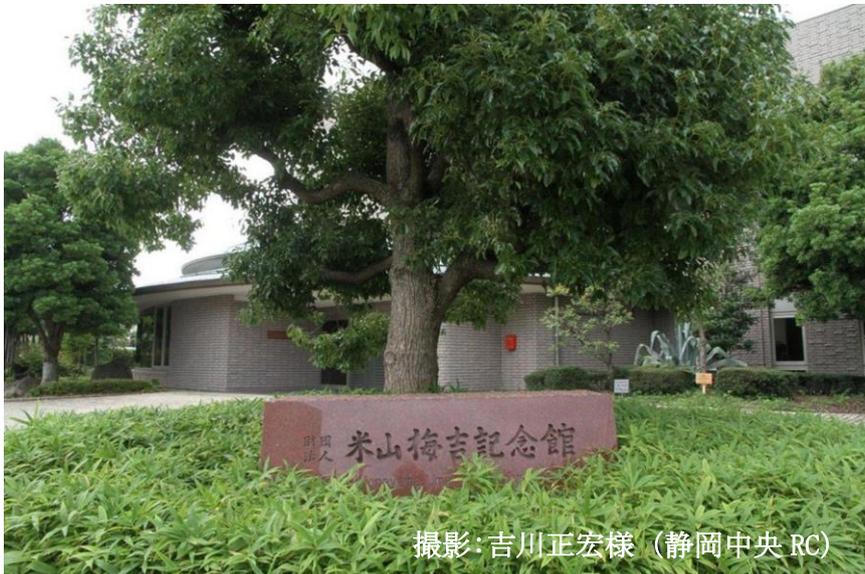
新緑が薫る5月。「会報」第7号をお届けします。

今回は「スリランカの貧しい子供たちに文房具を寄贈」プロジェクトを特集して構成しました。

また、RI 第2620地区2016-17年度ガバナーの生子哲男様よりご寄稿いただきまして御礼申し上げます。

今年も20名の新規・継続米山奨学生を迎え、米山学友会はさらにフレッシュな活動を展開できるものと期待しております。次号に向けて、様々な活動や情報を蓄積してまいりたいと思います。お気軽に連絡をお寄せください。

上野佳子（本号編集担当者）



学友会事務局：

〒411-0941

静岡県駿東郡長泉町上土狩 346-1

公益財団法人 米山梅吉記念館 内

Tel : 055-986-2946

Fax : 055-989-5101

メールアドレス yoneyama2620@gmail.com

フェイスブック <http://www.facebook.com/Ry2620>

